

令和元年5月18日(土)於：広島工業大学広島校舎

## 日本経営システム学会中国四国支部 令和元年度支部総会

### 議題

1. 平成30年度事業報告
2. 平成30年度会計報告
3. 令和元年度運営委員(案)
4. 令和元年度事業計画(案)
5. 令和元年度予算(案)
6. その他

以上

## 1. 平成30年度事業報告

### I. 支部運営委員会

日時：平成30年6月9日（土） 14：20－15：00

会場：広島工業大学広島校舎 301号室

（〒730-0811 広島市中区中島町5-7）

### II. 支部総会

日時：平成30年6月9日（土） 15：15－15：55

会場：広島工業大学広島校舎 301号室

（〒730-0811 広島市中区中島町5-7）

### III. 支部講演会

#### ■第1回

日時：平成30年6月9日（土） 16：10－17：30

会場：広島工業大学広島校舎 301号室

（〒730-0811 広島市中区中島町5-7）

共催：

- ・日本OR学会中国・四国支部「SCM&サービス工学」研究部会
- ・日本OR学会「食とその周辺」研究部会

講師：蓮池隆氏（早稲田大学准教授）

題目：農産物における産直流通モデルと農家・小売間の最適マッチング

概要：農産物サプライチェーンマネジメントにおいて、既存流通形態では、農家負担が重く、また産直販売では、流通規模に限界があった。そこで近年、既存流通形態の中間モデルにあたる産直流通モデルの可能性を探る研究がなされている。本研究では、この産直流通モデルを農家・小売間の最適マッチングととらえ、数理計画問題として定式化、分析を行うことで、産直流通モデルの利点・欠点を明らかにする。

#### ■第2回

日時：平成30年12月8日（土） 14：30－17：20

会場：広島工業大学広島校舎 402号室

（〒730-0811 広島市中区中島町5-7）

共催：

- ・日本オペレーションズ・リサーチ学会 SCM&サービス工学研究部会
- ・日本経営システム学会 イノベーション指向データ分析研究会

講師1：井上和重氏（広島工業大学 情報学部 知的情報システム学科 助教）

題目1：包絡分析法における、評価の深化に関する研究

概要1：評価対象それぞれの特徴を考慮し、効率性を分析する、包絡分析法(Data Envelopment Analysis: DEA)と呼ばれる手法があり、様々な場面で適用されている。本会では、評価に影響を及ぼした特徴に関する分析など、従来のDEAによる評価を深化する手法について、紹介する。

講師 2：平山克己氏（北九州市立大学 経済学部 経営情報学科 教授）

題目 2：Deep Q-learning とその応用について

概要 2：最近の AI 関連情報やビッグデータとの関連について述べ、手書き文字認識のデモンストレーションを行う。また、Deep Q-learning とその応用方法について説明する。

## 2. 平成30年度会計報告

収入の部		支出の部	
科目	金額（円）	科目	金額（円）
本部交付金	30,000	会場費（6月）	4,000
		講演謝金（6月）	8,000
		講演謝金（12月）	9,000
		講演謝金（12月）	9,000
		小計	30,000
		本部返金	0
計	30,000	計	30,000

資料 1：監査報告書・丹羽啓一氏（監事）

資料 2：監査報告書・藪内賢之氏（監事）

## 3. 令和元年度運営委員（案）（50音順，敬称略）

支部長：谷崎隆士（近畿大学）

副支部長：加藤浩介（広島工業大学）

幹事：宇野剛史（徳島大学）

監事：丹羽啓一（広島経済大学），藪内賢之（下関市立大学）

運営委員：折戸洋子（愛媛大学），加島智子（近畿大学），片岡隆之（近畿大学），  
久保大支（広島経済大学），島田文彦（広島国際大学），丁井雅美（広島国際大学），  
堂本絵理（広島経済大学），羽森寛（オー・エイチ・ティー(株)），  
韓虎剛（県立広島大学），松本慎平（広島工業大学）。

顧問：上野信行（広島経済大学），久保田明（元(株)ハイエレコン）

特別顧問：福井五郎（株インターフェース）

#### 4. 令和元年度事業計画（案）

##### I. 支部運営委員会

日時：令和元年5月18日（土） 14：30－15：10

会場：広島工業大学広島校舎 301号室

（〒730-0811 広島市中区中島町5-7）

##### II. 支部総会

日時：令和元年5月18日（土） 15：20－16：00

会場：広島工業大学広島校舎 301号室

（〒730-0811 広島市中区中島町5-7）

##### III. 支部講演会

###### ■第1回

日時：令和元年5月18日（土） 16：10－17：30

会場：広島工業大学広島校舎 301号室

（〒730-0811 広島市中区中島町5-7）

共催：

・日本OR学会中国・四国支部「SCM&サービス工学」研究部会

講師：川勝英史氏（尾道市立大学 経済情報学部 教授）

題目：スピルオーバー効果を考慮した能力創造型海外子会社に対する補助金交付の最適方策  
概要：海外子会社は、能力活用型および能力創造型の2種類に分類され、受け入れ国の企業のイノベーションに（正または負の）影響を与えることが知られている。このような効果は、「スピルオーバー効果」と呼ばれ、水平、垂直（前方、後方）のそれに分類される。一般的に、受け入れ国は、能力創造型に分類されるような海外子会社に対して、自国への進出を望んでいると考えられる。このため受け入れ国は、このような海外子会社に対して、補助金ないし助成金（税制面での優遇なども含む）を与えることも少なくない。本研究では、これらの要因を考慮し、能力創造型海外子会社に対する最適な補助金割当を求めるためのモデルを提案する。

###### ■第2回（広島地区で開催予定）

世話役：谷崎支部長

（日本OR学会中国・四国支部SCM&サービス工学研究部会との共催予定）

##### IV. 長期的活動方針

- 学界のみならず産業界との連携を積極的に行い、魅力的な活動の実施を通じて会員及び賛助会員の増大を図る。
- 中国四国地区における経営システム分野の研究者と実務家との間の交流を活性化する。

- 支部活動を通じて、会員相互の連携や関連分野の人材の取り込みを図るとともに、研究活動を充実させる。

#### 5. 令和元年度予算（案）

収入の部		支出の部	
科目	予算	科目	予算
本部交付金	30,000	会場費	4,000
		講演謝金	26,000
		小計	30,000
		本部返金	0
計	30,000	計	30,000

#### 6. その他

- 支部ホームページの運営管理：宇野幹事
  - URL：[http://www-math.ias.tokushima-u.ac.jp/jms\\_cs/](http://www-math.ias.tokushima-u.ac.jp/jms_cs/)
- 支部運営委員および支部会員の名簿管理：宇野幹事
- 支部運営委員および支部会員への各種案内メール送付：宇野幹事